

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和6年10月18日（金）
- 2 確認箇所
2号機原子炉建屋（図1）
※作業状況を遠隔操作室において確認
- 3 確認項目
テレスコピック式試験的取り出し装置アーム先端部カメラ交換作業の状況

4 確認結果の概要

2号機において、テレスコピック式試験的取り出し装置（以下「テレスコ装置」という。）による燃料デブリ^{※1}試験的取り出し作業が本年8月22日から実施されており、9月10日にテレスコ装置先端部が原子炉格納容器（以下「PCV」という。）との隔離弁を通過し、作業着手となった。

その後、燃料デブリ把持作業の準備として、9月17日にテレスコ装置の動作確認等を行ったところ、テレスコ装置先端のカメラ映像（①先端治具監視カメラ、②アーム先端部カメラ）が遠隔操作室内のモニターに適切に送られてこないことが確認された。

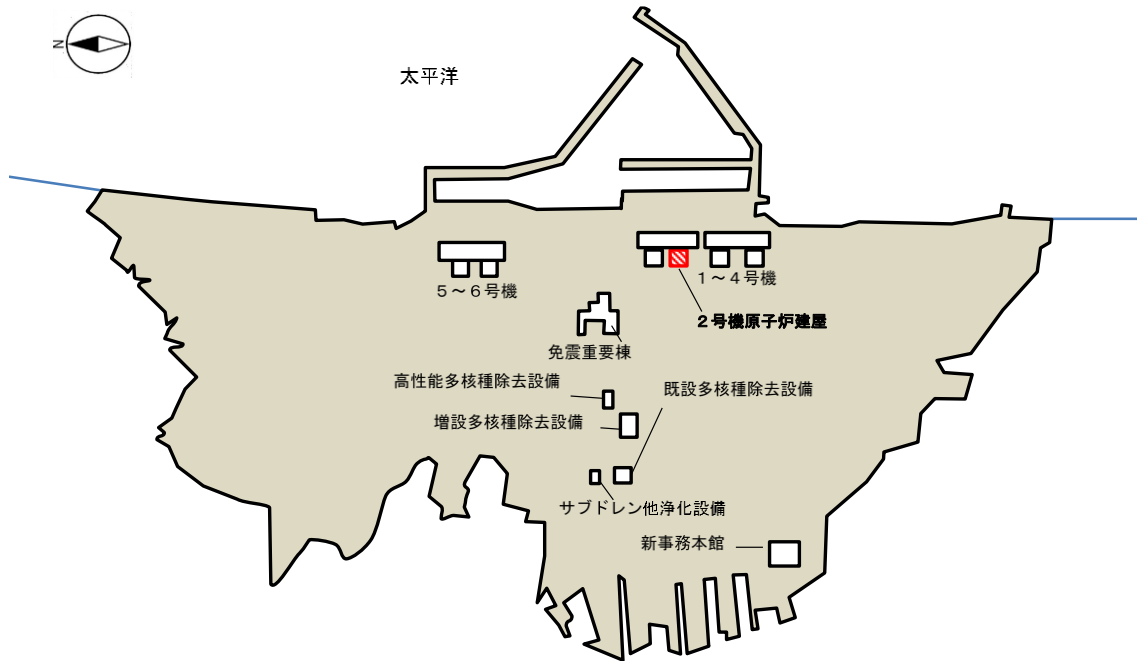
その後の原因調査結果を踏まえ、東京電力は当該カメラ2台を交換することとし、昨日（10月17日）からカメラ交換作業が開始された。

本日は、「②アーム先端部カメラ」の交換作業が実施されることから、その状況を確認した。（前回確認：令和6年10月17日）

【確認結果概要】

- ・カメラ交換作業は複数の項目に分けられており、各項目の作業開始前に、遠隔操作室から現場作業員に対し、トランシーバーを使用して作業内容の説明や作業における注意点の喚起が行われていた。
- ・作業の区切り毎に現場作業員から遠隔操作室に報告があり、現場と遠隔操作室において情報共有が図られていた。
- ・アーム先端部カメラの交換作業は問題なく終了し、カメラ映像が遠隔操作室内のモニターに適切に送信されたことを確認した。

※1 燃料デブリ：燃料と被覆管等が熔融し、再固化したもの。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータに異常な値は確認されなかった。